

(全 4 頁)

◎光通信				アーシー・モンパウス・ロカス スト・ライブダム・ロード77	
◎特 販	0557-224102		外 販 人	ウオスターン・エレクトロニクス	
◎出 版	0537(1982)12月22日			カパニム・イコーポレーテッド	
◎出展先	1981年12月25日米国(US)			アメリカ合衆国10038ニュー ・クニースーク・ブロード ウェイ222	
◎特 明 者	スチワード・エドワード・ミラ		合 代 理 人	丸藤士 岡部正夫 外 2名	
	アメリカ合衆国07760ニュー				

明	細	春
上見明の色紙	式品目録	

[illegible]

いて、
 通信符号部を識別する手段により既に明
 示づけられる通信部。

[illegible][illegible]

第28-15851(3)
- 403、1980年4月に述べられていた第2
テュアルの最終定額を使用することにより9年
間であることが可能である。

[illegible][illegible]

(8)

ファイルより取り出せる紙張デマルチプレクサ、図
4.16。それと作つて置ける誤りの影響の点々の
図であつて、ギシシステムの各組の信号を示す
ものである。

(主観部分の符号の注記)

△ 過剰額——— 10
△ ファイバー——— 15

出 願 人 ワサスタン エレクトリック
 カムパニー、インコーポレーテッド

代 理 人 國 籍 正 實 姓 名

安 邦 華

葛 瑞 賈

いゝ。

[illegible]

このようにシステム化して振動したオシラトグラフするパルスの長さが異なり、受振器内において振動が分岐現象とあらばモードの分岐によるパルスの長さは何らの規則も与えないことは不明の1つの弱点である。本

[illegible]

$\tau = 7/9$

である。7にチロフタ・パルスの周波数である
1のようにして、書目表(28-1)に加えられ
たチロフタ・パルスの周波数の変換部(29-1)
を加えられたチロフタ・パルスと比べて

システムをこれらおよび他の両方は以下で述べられる発明の範囲を定議から明らかにしよう。

[illegible][illegible]